

2020（令和2）年度 厳冬期の知床五湖エコツアー事業実施報告

1. 事業名

「厳冬期の知床五湖エコツアー」事業

2. 事業目的

厳冬期における知床の自然の魅力や価値を多くの人に伝えることや冬期におけるエコツアープログラム及び自然ガイド事業の充実を図り冬期の知床への来訪動機を高め、地域活性化を図る。

3. 事業実施主体

主催：「知床五湖冬期適正利用協議会」（（公財）知床財団他6団体）

事務局：釧路自然環境事務所・斜里町・知床ガイド協議会・知床斜里町観光協会

オブザーバー：オホーツク総合振興局 建設管理部・産業振興部 商工労働観光

課・保健環境部 環境生活課・知床森林生態系保全センター・網走南部森林管理署

4. 事業内容変更点

- ①コロナ禍での開催であったため開催日数を45日間に短縮（例年60日間）のうえ実施した。
- ②道道知床公園線道道知床公園線（岩尾別橋ゲートから知床五湖ゲートまで）の除雪については、引き続き知床五湖適正利用協議会による「自主除雪」で実施した。

5. 事業実施結果

- ・実施期間：令和3年1月25日(月)～3月10日(水) 45日間
- ・実施日数：44.0日
- ・中止日数：1.0日
- ・利用人数：789人（前年比41.2%）（1日当平均利用人数17.9人）
- ・ツアー事業者の実施回数：211回（1回平均3.7人）
- ・外国人利用人数：32人（全体に占める割合4.1%）

6. 利用状況

【性別】

男性：461（58.4%）、女性：328（41.6%）

【年齢】

～20：20（2.5%）、20代：325（41.2%）、30代167（21.2%）
40代：110（13.9%）、50代：116（14.7%）、60代：46（5.8%）
70代以上：5（0.6%）

【受付方法】

直接：742（94.0%）、ネット：47（6.0%）、ホテル：0（0.0%）
案内所：0（0.0%）

【外国人国籍】

中国：16（2.0%）、台湾：7（0.9%）、香港：0（0.0%）、韓国：0（0.0%）、
シンガポール0（0.0%）、マレーシア0（0.0%）、オーストラリア2（0.3%）、不
明その他：7（0.9%） 合計32（4.1%）

7. 収支決算状況（協力金による管理運営）

収入 3,190,017 円（繰入金 200 万円含む）

支出 2,672,607 円

差引 517,410 円（次年度へ繰越）

8. 実施状況

北海道が行ってきた道道知床公園線の「試験除雪」は平成 28 年度で終了したことから、平成 29 年度からは知床五湖冬期適正利用協議会による「自主除雪」で実施している。

特に問題等の発生は無かった。

実施状況としては期間中比較的天候が安定していたことから、中止日が 1 日であった。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で外国人及び首都圏からの利用者が激減したことで、目標の 1,300 人を下回る結果となったものの、斜里町からの支援を受けて実施した「知床アクティビティクーポン」等の効果もあり、道内や近隣からの利用があったことから最終利用人数が 789 人の利用者となった。

なお、収支については予算の段階で赤字が見込まれたことから積立金 200 万円を充てることで対応した。（1/19 開催の知床五湖冬期適正協議会で承認済み）

9. 令和3年度以降の事業計画

令和3年度以降の事業計画については、新型コロナウイルスの状況をふまえて今後開催予定の知床五湖冬期適正利用協議会で決定することとなるが、令和3年度の実施内容については、条件付き承認の条件を基本に、開催日程を関係機関と調整した中で例年同様の事業内容で進めてまいりたい。